

## 2 学力向上を図る取組

### (1) 各教科の授業における取組

#### 本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①基礎的・基本的な知識を基にした、生活や授業等の様々な場面で活用することができる力	②問題発見・解決につなげていく力 ③自分の考えを形成し、文章や発話によって表現する力 ④意味や価値を創造していく力	⑤主体的に学習に取り組む態度 ⑥自己の感情や行動を統制する力 ⑦自らの思考の過程を客観的に捉えることのできる力

教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	① ③ ⑦	①新出語句とそれに関連した語句を調べて理解する取組。 ③文学的文章の場面と場面、説明的文章の段落と段落等、部分同士の関係を明確にして文章を読み取る取組。 ⑦授業の振り返りと学習のアーカイブ化を図る取組。	
社会	① ③	①ワークシート、小テストなどを活用して、語句を確認し書き出したり、調べたりする取組。 ②基礎的・基本的知識を活用し、複数の資料を読み取りながら、自分の考えをまとめさせる、レポートなどを作成させる取組。	
数学	③ ⑦	③問題解決までの過程を自身で考えさせ、その考えを書き出したり、周りの人に伝え、表現したりする取組。 ⑦グループ活動を通して、他者の考えや意見を取り入れ、自分にとってより良い解き方や解決までの筋道を捉えさせる取組。	
理科	① ③	①小テストや単元テストを実施し、基礎学力を定着させる取組。 ③グループワークやレポート発表などを通して、自らの言葉で科学的思考を説明・表現していく取組。	
外国語	① ③	①語句や表現を身に付け、設定された場面で活用する取組。 ③英語の文章や会話に応じて適切な表現を返答したり、自分の考えを書いたり話したりする取組。	
音楽	② ③	②よりよい合唱をつくり上げるため、自ら課題を見つけてパート練習を行う取組。 ③鑑賞で、音楽から知覚したことと感受したことを自分の言葉で表現する取組。	
美術	④ ⑦	④自分の考えを深めそれを作品として表現する取り組み。 ⑦制作の過程で Chromebook で記録させることで、振り返りをする取組。	

技術	③ ④ ⑤	③問題解決までの過程を自身で考えさせ、その考えを書き出した り、周りの人に伝え、表現したりする取組。 ④製品の持つ意味や価値について理解し、新しい意味や価値のあ る製品を創造できる取組。 ⑤生徒が興味関心の高い教材を取扱い、主体的に取組む態度を育 てる取組。	
家庭	① ③	①製作に加えて、部分的な基礎縫い練習の時間を設ける取組。 ③自分の考えを形成し、周りの人と相談したり、アドバイスし合 ったりしながら学習を進める取組。	
保健体育	③ ⑤	③学習カードを用いて自ら学んだことや考えたこと、感じたこと をまとめたり、ペアやグループで取り組んだ内容やアドバイスを 言葉や文字にしたりする取組。 ⑤授業の導入を工夫することによって生徒が自ら学習に取り組 む態度を養う取組。	
特別の教科 道徳	② ⑥	②自身の生活を振り返り、グループでの話し合いなどを通して 様々な視点に気付く取組。 ⑥道徳的問題を自分事として捉え、探求していく取組。	
特別支援	③ ⑥	③毎日の日記、授業の振り返り、作文の書き方指導等を通して 自分の考えをまとめ、表現する力を養う取組。 ⑥SSTを定期的に行い、自分の感情との向き合い方や行動をコ ントロールする力を身につける取組。	

A・・・取組の効果が十分に見られた B・・・今後も課題として取り組む C・・・取組を見直す

## (2) 教育活動全体を通じた取組

本校の特色ある取組	
総合的な学習の時間(シティズンシップ教育)	○持続可能な社会づくりの担い手の育成 環境、貧困、平和、開発など地球規模の課題について扱い、それらの課題を自分の課題として捉え、解決に向け共に考える姿勢を育み、持続可能な社会をつくる担い手となれる人材を育成する。
読書活動の充実	○読書習慣を身に付けさせるために朝読書の時間を確保し継続的に実施する。学年図書の設定、昼の放送等を利用した新刊図書の周知等、読書活動の啓発に努める。
学習環境の整備	○掲示物の工夫、清掃活動の徹底、下校時の教室整備の点検活動など学習環境の整備をする。
道徳教育の充実	○担当教諭が持ち回りで行うローテーション道徳の実施 ○全校が同時期に同じ題材で行う命の授業の実施
特別活動の充実	○体験学習や係委員会・学校行事を通して、責任をもち自ら考え行動できる力を育成する。
部活動への参加	○部活動に積極的に参加させ、気力・体力を育成し粘り強く学習に取り組む態度を育てる。
小中連携の推進	○小中合同研修の実施。 ○連携をもとに教育課程の見直しを図り、小学校から中学校へのスムーズなつながりをつくる。
家庭教育との連携	
家庭学習の充実	○学年ごとにシラバスを含む家庭学習の心得をつくり、家庭学習の方法を理解し継続的に学習し、学習内容を定着させる。
学校公開の取組	○授業公開等を通じて学力向上推進状況の理解を深める。 ○保護者アンケートを実施し、授業改善に努める。